

# 乳がん 高度検診・治療センター NEW 一す NO. 14

2015.1

## 受けよう 乳がん検診



わが国の乳がんが増加していることはよく知られていますが、今や日本人女性12人にひとりが生涯のうちに乳がんにかかる時代です。かかる年齢層として40歳代、50歳代が多くを占め、若い女性に多い代表的ながんです。

乳がんになりやすい危険因子もかなり明らかにされてきました(表)。生活環境に関連した因子については、ライフスタイルの欧米化がまずあげられます。ただ、これもほぼ行き着くところまで行き着いたでしょうし、閉経後の肥満なども生活習慣病との関連で警鐘が鳴らされていますので、そろそろ乳がん増加にも歯止めがかかってほしいものです。気になるのは家族歴(身内に乳がんにかかった人がいる)のインパクトの大きさです。一昨年、米ハリウッド女優アンジェリーナ・ジョリーの衝撃的な告白以来、国内外で遺伝性乳がん・卵巣がん症候群が注目を集めています。当院でも乳がん患者さんがこの症候群に該当するかどうかを見極めるための遺伝子検査に向け体制を整えつつあります。もちろん、家族歴や表の項目に該当しない方で40歳を過ぎたら乳がん好発年齢と自覚して乳がん検診を必ず受けるようにしましょう。

しかし、残念なことにわが国でのマンモグラフィ検診受診率は欧米の半分程度と依然低く、都道府県別の比較では大阪府がいつもワースト5に入っているのは残念というほかありません。

当院乳がん高度検診・治療センターでは開設以来文字通り高度な検診を提供してきました。貝塚市以外では忠岡町、泉佐野市、熊取町、泉南市、田尻町、岬町など各市町の乳がん検診も行っています。詳細については乳がん高度検診・治療センター受付などに掲示の「検診のご案内」をご覧ください。昨年4月より土曜も隔週(第2・4週)に市民検診を行っています。また、女性医師による検診を希望される方は申込時にご相談ください。

### 乳がんになりやすい危険因子

#### 確実な因子

- 閉経後の肥満
- 成人期の高身長
- 出産経験なし
- 初産年齢が高い
- 授乳経験なし・授乳期間が短い
- 高線量の被爆
- 良性乳腺疾患
- 乳がん家族歴
- エストロゲン＋合成黄体ホルモン併用療法の長期投与

#### ほぼ確実な因子

- アルコール飲料
- 喫煙
- 生下時体重が重い
- 閉経前の低体重
- 早い初経、遅い閉経

(日本乳癌学会編 乳癌診療ガイドライン②疫学・診断編2013年版 より引用改変)

詳細は乳がん高度検診・治療センターにお問い合わせください。

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865



KAZUKA

